

理事會報告

八月二十六日(水)浦和県連事務所にて第五回理事會を十二名の出席で行いました。

委員会活動報告・計画予定

・全国連盟など：理事長

関東ブロック役員交流

九月五日(土)宇都宮市冒険活動センター・六日(日)宮屋地区センター

武笠、徳重参加予定

アジア山岳連盟(UAAA)年次総会・十月二十四日

第九回全国救助隊交流集

会・十月三十一日(土)十一月一日(日)

【県連全体活動】県連HPの「会の紹介文」を増やして、組織を大きくしたい。

【事務局】所沢のフリーク

ライミングクラブより加入の申請あり(矢崎副理事長案内書送る)

【三役会議】九月三日(木)

【財政】二団体未納、早急に納入を。財政担当より各ブロックに活動費を準備・支払い。

【組織】県連ホームページを利用して会員拡大

【ホームページ】八月十八日(火)日進山岳会紹介文掲載

【女性】インドヒマラヤ埼玉県連、島田理事他三名無事帰国。九月に報告会を開きたい。

【ハイキング】全国ハイキング交流集会(長野・唐沢鉱泉)佐藤副理事長参加予定。二月十三日から十四日・南ブロックと共同でスノーハイク

【自然保護】関東B自然保護集会十月三十一日(土)十一月一日(日) 加納理事参加予定

【救助隊】九月七日(月)役員会、全国救助隊交流集会を論議

【登山学校】山での救急法八月一日(土)机上受講者二十名、運営委員十一名。二日(日)

実技(鹿沼の岩場)受講者十八名、運営委員十名

・地図の読み方九月五日(土)机上、六日(日)実技

【岩ネット】八月二十三日・三つ峠

【ブロック会議】西部：九月十六日会議 十一月交流会について

南部：八月二十日会議、十月二十五日・交流バスハイク(古賀志山)二月スノーシューハイク

【議題】1、安全登山講演会

日程：十一月二十九日(十三時受付)

講師・全国連盟の井芹氏に要請

内容：前回、安全教育担当者会議で行われた内容にトムラウシ事故を加えたもの

2 遭難防止・安全教育担当者会議：トムラウシの遭難事故について、ヒヤリハット事例 各会へメールで募集 県連HPでダウンロードできるようにする

3、労山会員以外の遭難救助要請について：徳重副理事長が素案を準備。三役会議で案を確認予定

4、規約改正：三役互選など案文整理

5、その他 大雪遭難について矢崎資料配布

第三回岩ネット報告

(担当理事 尾手記)

七月二十日(月)天候 晴

れ 於：那珂川水系・苦戸川・井戸沢

三郷・三名、浦和・二名

新座・三名 日和田・一名

桝歩歩・一名 上福岡やま

なみ・一名 計十一名参加

で行いました。

小生が岩ネット担当理事になって岩ネットでの沢登りは初めてでした。これも軽部氏が事務局になって活発な多彩な企画活動ができるようになって感謝です。

前日十九日の夕方より各車に便乗して深山ダムサイトを目指し、西浦和を出発。途中、食料を調達して深山ダムサイトでテント設営。夜は各会との交流で盛り上がり明日の沢での遡行を期待して就寝。

ダム駐車場より車を移動したが、橋は錠がかり止む無く井戸沢出合迄の長い歩きとなる、

出合の処で新しく堰堤ができていて、いきなりロープを出し懸垂下降の始まりだった。

この沢は何箇所かロープを出しながらの遡行でしたが、快適な沢登りが楽しめる良

い沢だと感じました。つめもヤブコギがなく稜線に出て流石山から茶臼岳の展望、お花畑を堪能した次第です。ただ小生は途中、腰を痛めて皆さんの足を引っ張って申し訳なく思っています。

今回は各会よりの参加が多く、軽部氏の企画に感謝しています。

これからもよろしく願っています。

参加希望者は

岩ネット事務局 軽部迄

岩ネット担当理事 尾手迄

FAX TEL 048-957-8767

ote@mrghiglobe.ne.jp



2010年労山カレンダー申込受付中

第1次締切日 8月31日

第2次締切日 9月15日

その後随時受け付け 名入れ受付

第1次、納品 9月中

2次は納品 10月中旬となります

その後の申し込みは納品日未定

詳しくは県連事務局 木阪まで

「安全登山講演会、概要きまる!!!」11月29日 日曜日 午後 北浦和労働会館にて

大雪山ツアー登山事故 「ツアー登山会社・アミューズトラベルの企画で、55~69歳の客15人とガイド3人は、14日旭岳温泉発~旭岳~白雲岳避難小屋泊。15日~忠別岳~五色岳~ヒサゴ沼避難小屋泊。16日~トムラウシ山~トムラウシ温泉に下山、との山中2泊3日の予定で大雪山縦走を行った。

その下山予定日に悪天時の無謀行動から遭難事故を起こし、18人中8人(チーフリーダー1名含)が死亡した。この事故報道より、事故発生までの経過から事故原因・防止策を考える。」 矢崎副理事長記

この問題を中心に、講師・井芹昌二氏(日本勤労者山岳連盟遭難対策委員長)よりお話をさせていただきます。広く労山会員・未組織登山者の安全意識の向上と登山の発展を願って企画しました。 徳重副理事長・救助隊長記



ハイキングクラブ上里

小田満義

ここ一年の間に山仲間が転倒、或いは不注意などによる骨折や捻挫などのトラブルに遭遇、私が生半可な知識で手当をするという機会があり、「何時かはキチンと学ばねば!」と思っ

ていた矢先のタイムリーな【労山】の企画でした。登山者の高齢化で事故やケガの発生が多発する昨今、その当事者であったり、また仲間にもその機会に遭わ

ないことを念じつつ、「イザ」というときの為に受講を希望しました。

一日目 机上学習

ケガなどに対処する「三角巾」の使い方、最近普及している「AED」の使用法、非常時の「心肺蘇生法」など、マネキンや実物を使用した講義、実技。

短時間ながらもポイントを的確に説明する谷脇講師に、一言も漏らさずと周りを

を囲む受講者は、貪欲(失礼)な意欲と真剣な眼差しに満ち溢れていました。

又、午後は軽部講師のロープやテープスリングの扱い方、使用状況など時折ユーモアを交えながらも、こと人命に拘ることであり、具体的な実例を挙げての講義

や実技。笑ったり、励ましたり、この時ばかりは受講者の聞く耳もピクピクと大きく動き、普段覚束ない指先も、こころなし踊っているように滑らかでした。

2日目 実技講習

午前は負傷者の救出や自身の懸垂下降などのロープワーク。午後は負傷者の救出に伴う小道具の作り方、使い方を目の当たりで実践

実に具体的に解りやすい。低山ながらも、所々滑りやすい露岩に悪戦苦闘しながらも意欲満々の老若男女が盛りだくさんの内容でした。

時折小雨のちらつく生憎の天気でしたが、2日間充実した内容の講座の準備や、堅い頭、不器用な手先の受講者に、根気良く繰り返し繰り返し、取扱いの説明をして頂いたスタッフ、講師の方々に感謝をすると共に、心地よい疲労感と充実感を心に抱きながら帰路

についた私でした。

日進山岳会 加藤由香

昨年、登山学校を年間受講した。講座はどれも重要な内容ばかりだったが、中でも救急法を確実に身につける必要性を感じ、「救急法」講座にスポット参加した。

1日目の机上学習は午後からの参加となってしまった。軽部講師による、遭難事故の概要や救助法等の講習。まずはスリングとカラ

ビナで簡易ハーネスを作成。昨年確かに習った筈の結び方だが、手つきがおぼつかない。その後の各種ロープワークももたつき、日頃の練習が重要と反省。

次にブレイクシステムによる救助法の説明。崖下にメソニーが転落したと仮定し、ロープで引上げられる方法を学ぶ。1対1で上げる、1〜3の力で上げる等の方法を受講生や講師陣に実践していただく。

転落役は体格の良い男性揃いだっただが、動くまいと懸命に踏ん張っても、見事にロープに引張られてしまふ。特に1〜3システムでは、女性でも、ロープを操り男性を引張ることができる。是非覚えてほしい。

机上講習を終え帰宅後、荷造り。カラビナやスリング等が少し加わるだけで、

ザックが気持ち重く感じる。その比ではない重いロープや救急用品をいつも背負ってくださっている運営委員の方々に、改めて感謝する。

入校までは、緊急時を想定した荷造りについてあまり考えたことがなく、正直、同行者任せだった。荷物総重量との兼ね合いや体力づくり等課題は多いが、緊急時に備えた荷造りをこれからも考慮していきたい。

翌日は栃木県・鹿沼の岩山で実習。曇。九時三十分、日吉神社より登り始める。

この山は岩場をよじ登ったり、岩と岩の間をすり抜けるように進んだり、変化に富んだ楽しい山だ。前日までの雨により、岩場に滑りやすい箇所があるの

で、3点確保を特に意識しながら登っていく。時々小雨が降るが、本降りには至らない。崖状の場所を利用し、ロープによる救助訓練。立木にロープを結び、崖下にいる人を引張り上げる。ロープを張る角度も重要、上げる方と上げられる方との呼吸を合わ

せ、ロープを引いたりゆるめたりと大変である。

昼食後下山しながら、一人ずつ懸垂下降の訓練。下降する向きに思い切り体重をかけるのが難しく、苦勞しながらじわじわと降りる。十四時頃、神社下の公園に到着。各自持参のツェルトを張ってみる。全員揃うまで、中で実際に寝ていた人もいた。なかなか快適らしい。

簡易担架や簡易松葉杖、ザック利用の背負い搬送法等を教わる。これらの方法を知らないといいなという時は大違いだ。いざという時しっかりと使えるようにせねばと強く思う。

十五時三十分頃解散した途端、大粒の雨が降り始めた。行程中は大降りになることはなかったため、大変ラッキーだった。

ロープワークをはじめ日常の練習が大事と、改めて痛感する2日間だった。緊急時にまごつかないよう、反復して身につけていきたい。

事前準備から当日の指示、ロープの確保等、運営委員の皆様には大変お世話になりました。本当にありがとうございました。

会山行報告 安達太良山(8/22~23) 山遊会ピスターリ 参

加者9名  
 天候:曇 コース:奥岳登山口 勢至平 金明水付近 くらがね小屋(泊)  
 峰の辻 安達太良山山頂 薬師寺ロープウェイ山頂駅 奥岳登山口  
 山頂付近は強風と霧で素手の手先が冷たく、あわてて手袋取り出す天候でした。しかしロープウェイの乗車を回避しスキー場ゲレンデを下山する頃は汗が出る天候でリンドウ等のお花畑の中を楽しく下山しました。くらがね小屋の源泉直入の温泉は私の経験の中で、一、二の温泉、山小屋で本格温泉に入浴でき感激!手が凍る気候と汗が噴出す気候が1時間内に体験

《編集後記》冷夏でしたが皆さんは山を楽しみましたか?お盆休みに白馬岳、五竜岳に行ってきました。風雨で一日停滞でしたが、映画で楽しんだ

剣岳を目の前にして大感激!何時の日か続きをと思いながら下山。テレキャビンでザックの超過分まで払って散々、でも北アは最高でした(笑)次号は原稿締切九月末、印刷・発送は十三日(火)です。(アオ)